



2022年4月入職

いはらりょうせい
伊原凌聖

常に向上心を持ち続けながら、理想に近づくために

慎重な性格が、この仕事に向いている

医療の道に進むことを決めたのは、看護師を目指す姉の姿に感化されたことがきっかけです。昔からPCに触ることに慣れていたので、医療と機械、両方の知識や技術を必要とする臨床工学技士の仕事をみつけたときは、「これは自分に向いているかもしれない」と思いました。いま振り返ってみると、あのときの直感は正しかったと思います。私は、何度も確認を繰り返しながら物事を進めるくらい慎重な性格なのですが、責任感と危機感が必要とされるこの仕事は、自分の天職だといえるかもしれません。

善仁会グループに入職を決めた選択も正しかったと感じています。約1カ月間の研修をとおして必要な知識を基礎から教えていただいたので、準備に万全を期した上でスタートを切ることができました。思いやりエキスパートをはじめとした社内制度も充実しており、スキルアップの実現においても不足はありません。長期的にキャリアを形成していく上で理想的な環境だと感じています。

安心感を与えられる存在へ



教育制度が整備されているので、穿刺や機械操作などの基本的な業務はすぐにある程度できるようになると思います。ただ、その先の成長に関しては自分次第です。私の上長は個々の思いをしっかりと汲み取ってくださる方で、意欲的な姿勢で取り組んでいれば、経験したことのない領域にもチャレンジできる場を提供してくれます。年数を重ねていくと、どうしても日々の業務に慣れてしまいがちです。成長を感じられる環境に身を置くことは、モチベーションを維持し

続ける上でとても重要ではないでしょうか。

思いやりエキスパートの候補に選ばれたことも、向上心を高めていく上でプラスになりました。思いやりエキスパートである私の上長は、経験が豊富なことに加え、どんなトラブルがあっても「この人がいればなんとかなる」という絶大な安心感があります。私の目標は、スタッフはもちろん、患者さまを含めたクリニックに関わるすべての人たちに安心感を与えられる存在になること。研修を終えたいま、これまであまり会話がなかった患者さまが言葉をかけてくださるなど、研修の成果は早くも現れ始めています。常に向上心を持ち続けながら周囲の方からの信頼を少しずつ勝ち取り、自分の理想へと着実に近づいていきたいです。



お客さまに安心を届け、
信頼される臨床工学技士を
目指します。

伊原 凌聖